

## 介護職員初任者研修：科目別シラバス

科目名	時間数	指導目標
1. 職務の理解	5 h	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるように指導する。
項目名	時間数	講義内容
1) 多様なサービスの理解	2 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇介護職の仕事内容や働く現場の理解                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なサービスの理解</li> <li>・キャリアパスと介護職員初任者研修 等</li> </ul> </li> <li>◇社会福祉制度の役割とその変容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉制度の役割は何か</li> <li>・社会福祉制度の変容 等</li> </ul> </li> </ul>
2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇介護福祉職に求められている視点とは                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士の定義の改正「心身の状況に応じた介護」</li> <li>・人間関係、社会関係を築く介護福祉職 等</li> </ul> </li> <li>◇コミュニティケアを担う介護福祉職の役割                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設から地域をつなぐ</li> <li>・家族介護者を支援する地域づくり</li> <li>・生活を支え合う介護福祉職の連なり 等</li> </ul> </li> </ul>

科目名	時間数	指導目標
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	8 h	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防と言う介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解させる。
項目名	時間数	講義内容
1) 人権と尊厳を支える介護	6 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇人権と尊厳の保持                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の尊厳と自立</li> <li>・ノーマライゼーションの意義</li> <li>・QOLを支えるとは</li> <li>・ICF（国際生活機能分類）に至るまでと、ICFの意義</li> <li>・個人の尊厳と法制度</li> </ul> </li> <li>◇人権擁護の基本視点                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者虐待</li> <li>・身体拘束禁止規定と高齢者虐待</li> </ul> </li> </ul>
2) 自立に向けた支援	2 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇介護の基本視点                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービスの社会的役割</li> <li>・福祉理念と介護サービスの意義 等</li> </ul> </li> <li>◇介護予防                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護状態の原因疾患</li> <li>・介護予防とは</li> <li>・介護予防が目指すもの 等</li> </ul> </li> </ul>

科目名	時間数	指導目標
3. 介護の基本	4 h	介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち、重要なものを理解させる。 介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事が出来るようになる。
項目名	時間数	講義内容
1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	1 h	◇介護環境 - 介護環境の理解、地域包括ケアの方向性 ◇介護の専門性 - 介護とは、専門職としての介護の視点 等 ◇介護にかかわる職種 - 利用者を取りまく多職種連携 等
2) 介護職の職業倫理	1 h	◇介護サービスの公共性と職業倫理 - 介護サービスの公共性 ◇利用者・家族に対する責任 - 利用者・家族との関係 ◇社会に対する責任 - 倫理と規範 等
3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1 h	◇介護における安全の確保 - 事故の分類と実態 等 ◇事故予防安全対策 - リスクマネジメント、介護事故予防 等 ◇感染対策のための基本的知識 - 感染症とは 等 ◇緊急時の対応 - 応急処置の例、救急法とは 等
4) 介護職の安全	1 h	◇介護職の心身の健康管理とリスク管理 ◇介護職におこりやすい健康障害 ◇介護職の労働法と労働の権利

科目名	時間数	指導目標
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9 h	介護保険制度や障がい者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できるようになる。
項目名	時間数	講義内容
1) 介護保険制度	3 h	◇介護保険制度創設の背景、目的および動向 ◇介護保険制度の仕組みの基本的理解 ◇保険給付とその種類 ◇地域支援事業等 ◇制度を支える組織・団体の機能と役割、財源 ◇ケアマネジメント
2) 障害者自立支援制度およびその他制度	3 h	◇障害者福祉制度の理念 ◇障害者自立支援制度の仕組みの基本的理解 ◇個人の権利を守る制度の概要
3) 医療との連携とリハビリテーション	3 h	◇医療行為と介護 ◇医療と介護の連携とその必要性 ◇リハビリテーション職種との連携

科目名	時間数	指導目標
5. 介護におけるコミュニケーション技術	6 h	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解させる。
項目名	時間数	講義内容
1) 介護におけるコミュニケーション	3 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇介護におけるコミュニケーションの技法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活場面におけるコミュニケーション</li> <li>・相談援助技術の重要性</li> </ul> </li> <li>◇利用者・家族とのコミュニケーションの実際 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の心理とコミュニケーション</li> <li>・家族とのコミュニケーション</li> </ul> </li> <li>◇利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚、聴覚障害のある人とのコミュニケーション</li> <li>・失語症、構音障害のある人とのコミュニケーション 等</li> </ul> </li> </ul>
2) 介護におけるチームのコミュニケーション	3 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇チームケアとチームアプローチ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアチームの種類</li> <li>・チームアプローチの意義と効果</li> </ul> </li> <li>◇記録による情報共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護記録の重要性</li> </ul> </li> <li>◇報告・連絡・相談および確認</li> <li>◇コミュニケーションをうながす環境</li> </ul>

科目名	時間数	指導目標
6. 老化の理解	5 h	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解させる。
項目名	時間数	講義内容
1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	2 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇老化の概念と老化説 <ul style="list-style-type: none"> <li>・老年期とは</li> <li>・老化とは</li> <li>・老化説</li> <li>・性役割</li> </ul> </li> <li>◇老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 <ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚と知覚の変化</li> <li>・記憶の変化</li> <li>・知能の変化</li> <li>・感情の変化 等</li> </ul> </li> <li>◇老化に伴うからだの変化と日常 <ul style="list-style-type: none"> <li>・老化の生理学</li> <li>・からだのしくみと機能</li> </ul> </li> </ul>
2) 高齢者と健康	3 h	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇高齢者の疾病と生活上の留意点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の疾病の特徴</li> <li>・高齢者に多い症状と原因として疑う疾病</li> </ul> </li> <li>◇高齢者に多い病気とその日常生活上への影響 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病とメタボリックシンドローム</li> <li>・高血圧と糖尿病</li> <li>・循環器の病気（循環器障害） 等</li> </ul> </li> </ul>

科目名	時間数	指導目標
7. 認知症の理解	4 h	介護において認知症を理解する重要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解させる。
項目名	時間数	講義内容
1) 認知症を取り巻く状況	1 h	◇認知症ケアの施策と制度 ◇認知症ケアの原則
2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1 h	◇認知症の概念 ◇認知症の原因疾患とその病態 ◇原因疾患別のケアのポイントと健康管理
3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1 h	◇認知症の基本的理解 ◇認知症の症状とその要因 ◇中核症状の具体的症状と理解 ◇B P S D（行動・心理症状）の理解と対応 ◇心理学的援助方法論 ◇認知症の利用者へのかかわりの基本
4) 家族への支援	1 h	◇家族の現状と認知症高齢者の暮らし ◇認知症と向き合う人々

科目名	時間数	指導目標
8. 障害の理解	3 h	障がいの概念と ICF、障がい者福祉の基本的考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解させる。
項目名	時間数	講義内容
1) 障害の基礎的理解	1 h	◇障害の概念と I C F - 「障害」とは何か、障害の受容 等 ◇障害者福祉の基本理念 ・ノーマライゼーションの概念 ・リハビリテーションとは ・インクルージョンとは
2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1 h	◇身体障害 - 視覚障害、聴覚障害、平衡機能障害、運動機能障害（肢体不自由）、音声障害・言語障害・咀嚼障害、内部障害 ◇知的障害 ・知的障害とは ・知的障害のある人の生活上の困難 ・知的障害のある人の心理と行動特徴 等 ◇精神障害 - 精神疾患、高次脳機能障害、発達障害 ◇難病 - 難病の特徴、おもな難病、心理の実際 等
3) 家族の心理、かかわり支援の理解	1 h	◇家族への支援 ・障害や障害のある人に対する偏見と障害の理解 ・障害受容の理解 ・当事者、家族のおかれている環境の理解 ・当事者、家族の持つ力をひきだし、サポートする

科目名	時間数	指導目標
9. こころとからだのしくみと生活支援技術	65h	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるようになる。 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を取得させる。
項目名	時間数	講義内容
1) 介護の基本的な考え方	2h	◇介護の基本的な考え方 ◇重度化防止の視点
2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3h	◇高齢者の心理 ◇自己実現と生きがいつくり
3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5h	◇人体・骨・関節・筋肉に関する基礎知識 ◇運動動作に関する基礎知識 ◇神経系に関する身体のしくみ ◇バイタルチェック
4) 生活と家事	5h	◇家事と生活の理解 ◇調理・食生活に関する基礎知識と生活援助 ◇洗濯に関する基礎知識と生活援助 ◇掃除に関する基礎知識と生活援助 ◇買い物に関する基礎知識と生活援助
5) 快適な住居環境整備と介護	5h	◇住環境整備 ◇福祉用具の活用
6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5h	◇整容に関する基礎知識 ◇衣類の着脱の介護
7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5h	◇体位・姿勢の基礎知識 ◇車いすでの移動の介護 ◇移動の介護
8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5h	◇食事に関する基礎知識 ◇食事の介護 ◇口腔ケアの支援技術
9) 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5h	◇入浴・清潔保持に関する基礎知識 ◇入浴の介護 ◇細部の清潔
10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5h	◇排せつに関する基礎知識 ◇自立に向けた排せつ環境整備と用具の活用方法 ◇自立に向けたアセスメントと排せつ介護
11) 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5h	◇睡眠に関する基礎知識 ◇睡眠の介護
12) 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	5h	◇終末期ケアに関する基礎知識 ◇終末期ケア ◇看取りの介護

13) 介護課程の基礎的理解	5 h	◇介護課程の基礎的理解 ◇介護課程の展開事例
14) 総合生活支援技術演習	5 h	◇事例による展開 ◇事例の揭示

科目名	時間数	指導目標
10. 振り返り	3 h	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。
項目名	時間数	講義内容
1) 振り返り	2 h	◇学習到達度の振り返り
2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1 h	◇質の向上と人材育成 ◇専門職としての知識と技術を生かすために

科目名	時間数	講義内容
11. 人権問題に関する理解	2 h	人権啓発に関する基礎知識

科目名	時間数	講義内容
12. 修了評価	1 h	全科目修了時に筆記試験により実施